

令和8年度 さいたま市立宮前中学校第1回学校運営協議会議事録

- 1 日 時・場所 [日時] 令和8年6月25日(金) 11:00～12:30
[場所] 宮前中学校 図書館

- 2 出席 久保田 章 (内野公民館 館長)
荒井 清司 (宮前中学校チャレンジスクール実行委員長)
奥山 理江 (日進地区主任児童委員)
寺内 一夫 (大宮地区保護司会 北支部保護司)
鈴木 真 (宮前町2丁目自治会副会長)
作美 利春 (元特別支援学校教諭)
山崎 秀雄 (日進地区社会福祉協議会会長)
寺越 崇征 (日進北小学校 校長)
岩瀬 秀憲 (宮前中学校PTA副会長)
秋山 昌代 (校長)
新村 純子 (教頭)
神山 徹弥 (教務主任)
浦野 額照 (学校地域連携コーディネーター)
- 欠席 高橋 満広 (宮前中学校PTA会長)
川崎 照正 (日進町3丁目自治会長)

- 3 次 第
(1) あいさつ (校長)
(2) 任命書の交付 (校長)
(3) 委員自己紹介
(4) 会長・副会長選出
(5) 学校運営に関する基本的方針等について (校長)
(6) 授業参観
(7) 熟議
(8) 事務連絡 (教頭)

- 4 議事
(1) 会長・副会長選出
会 長 荒井 清司 副会長 寺内 一夫
(2) 学校運営に関する基本的な方針等の説明と承認
→ 承認
(3) 熟 議
「笑顔あふれる宮前中」にするために、「目指す生徒像」に迫るために学
校・家庭・地域が一緒にできることは何か

委員より

- ・ボランティア活動が活発だが、受験のために参加している生徒もいるようなので、ボランティアの本当の意義を伝えていけるとよい。
- ・地域との関わりからボランティアの在り方を考えていきたい。
- ・学区が2つの区にまたがっており、互いの地域活動への理解が不十分なところがある。学校が2つの区の橋渡し役になり、地域が一体となった活動ができるとよい。
- ・居住地域にこだわらずに、いろいろな地域に子どもたちが出向いて行くような活動になるとよいと考える。
- ・様々な取り組みを通して、プライドの持てる地域にしていく必要がある。
- ・PTAの活動も子どもたちの笑顔が溢れるよう参画していきたい。
- ・AIに相談してトラブルになる事案が報道されているが、AIの前に人間に相談するべき、そのためにも先生と生徒、保護者との人間関係が大切である。
- ・個人情報の問題もあるが、一定の情報共有も必要である。
- ・ICTも大切だが、書くことも大切である。
- ・読書の大切さを伝えていきたい。

5 事務連絡

【今後の予定】第2回：12月 2日（水）午後

第3回： 2月10日（水）